

Masterpieces of ukiyo-e paintings from Ota Memorial Museum of Art

太田記念美術館  
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

開館40周年記念  
太田記念美術館所蔵

# 肉筆浮世絵 名品展

—歌麿・北斎・応為

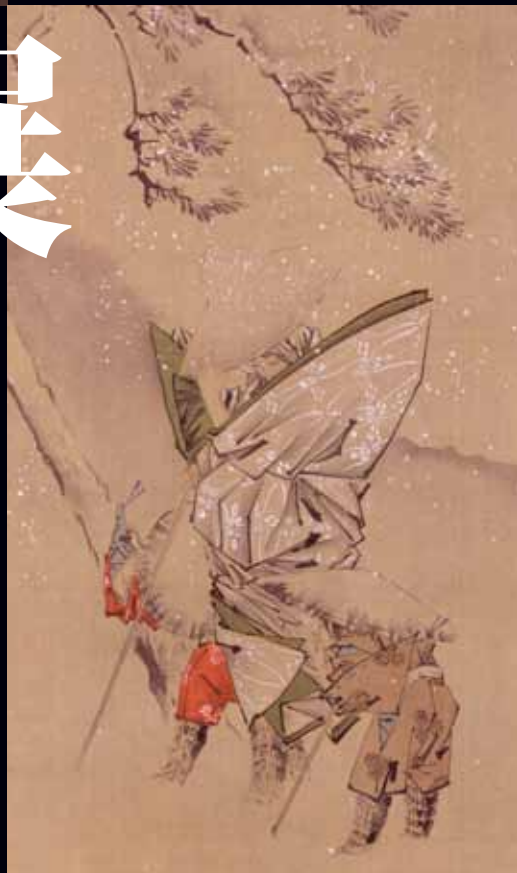
2020

1/11<sup>⊕</sup>—2/9<sup>⊕</sup>

開館時間 10:30~17:30(入館17:00まで)

休館日 月曜日(1/13は開館)、1/14

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> twitter @ukiyoeota



# 歌麿・北斎・応為 — 肉筆画の貴重な名品を一挙公開



1 喜多川歌麿《美人読玉章》2 歌川広重《日光山華厳ノ滝》《日光山霧降ノ滝》《日光山裏見ノ滝》3 葛飾北斎《雨中の虎》4 小林清親《開化之東京両国橋之図》5 葛飾応為《吉原格子先の図》6 岡芳年《雪中常磐御前図》7 菱川師宣《遊女物思いの図》

原宿にある浮世絵専門の美術館・太田記念美術館は、かつて東邦生命相互保険会社の社長を務めた五代太田清藏（1893〜1977）が生涯に渡って蒐集した浮世絵を中心とする、1万4千点のコレクションを所蔵しています。当館は昭和55年（1980）1月に原宿でオープンして以来、都内でも数少ない浮世絵専門美術館として活動を続け、2020年1月に開館40周年を迎えます。

本展では開館40周年を記念して、当館の幅広い所蔵の中から、肉筆画の名品を選びすぎて公開いたします。絵師が下絵を描き、彫師、摺師との分業によって生み出される浮世絵版画と比べ、肉筆画は絵師が完成まで手作業で仕上げる一点物。肉筆画からは、絵師たちの生の筆致や技量をうかがい知ることができます。

初期浮世絵の菱川師宣からはじまり、鳥居清長や喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重といった有名絵師たち、明治時代に活躍した小林清親、月岡芳年まで、長い浮世絵の歴史を彩る、肉筆画の名品が勢揃いいたします。中でも、葛飾北斎がその没年に描いた傑作「雨中の虎」、そして北斎の娘であり、世界で十数点しか作品の知られていない葛飾応為の名品「吉原格子先の図」の同時公開。父と娘、二人の天才絵師が競演します。

学芸員によるスライドトーク 展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

1月13日(月祝), 1月22日(水), 1月31日(金)

各回11時から約40分

視聴覚室(B1)にて、申込み不要、参加無料(要当日入場券)

**太田記念美術館**  
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

[入館料] 一般700円 大高生500円 中学生以下無料  
※団体(10名様以上)は1名あたり100円割引いたします。  
[会場] 太田記念美術館(東京都渋谷区神宮前1-10-10)  
[問合せ] 03-5777-8600(ハローダイヤル)

[アクセス] JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分  
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅  
(5番出口)より徒歩3分

